

第 73 回全国健康保険協会香川支部評議会議事録

開催日時：令和 5 年 1 月 16 日（月）10：00～12：00

開催場所：リーガホテルゼスト高松 翡翠

評議員：上村評議員、尾崎評議員、小林評議員、繁村評議員、白井評議員（副議長）、
長山評議員（議長）、西尾評議員、野崎評議員、芳我評議員

（五十音順）

議事

○報告事項

1. 2022（令和 4）年度香川支部保険者機能強化予算に関する変更点について
2. インセンティブ制度に係る 2021（令和 3）年度実績について

○協議事項

1. 2023（令和 5）年度都道府県単位保険料率（案）について
2. 2023（令和 5）年度支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）について

○その他

- ・活動報告
- ・協会けんぽ香川支部の概要

報告事項 1. 2022（令和 4）年度香川支部保険者機能強化予算に関する変更点について

【事務局より資料 1 基づき説明】

（質問・ご意見なし）

報告事項 2. インセンティブ制度に係る 2021（令和 3）年度実績について

【事務局より資料 2 に基づき説明】

（評議員の質問・ご意見）

【学識経験者】

事業者健診においても体重や BMI 等を把握することができるので、特定保健指導を行う根拠にはなる。よって、事業者健診についても、インセンティブ制度の指標として反映していくことは大切だと考える。

【事業主代表】

指標④医療機関受診率について、受診勧奨はどのように行っているのか。健診受診後の被保険者へ勧奨しているのか、事業所に対して従業員に受診を促す勧奨をしているのか

によって、受診行動に影響してくる。

【事務局】

協会けんぽから直接対象者へ受診勧奨を行っているため、事業所側は対象者を把握していない。

【事業主代表】

事業所が対象者を把握していれば、事業所から対象者への受診勧奨や健診等での有給取得を推奨できるが、情報共有は可能か。

【事務局】

個人情報保護の観点から難しい。情報共有のためには、対象者であるということを事業所側に共有して良いかを対象者に確認しなければいけない。

いただいたご意見を参考にしつつ、パイロット事業等に活かしていけないか検討していきたい。

協議事項 1. 2023（令和 5）年度都道府県単位保険料率（案）について

【事務局より資料 3 に基づき説明】

（評議員の質問・ご意見）

【事業主代表】

法定準備金残高が 5 兆円ということだが、今後財政赤字が増えていくことに危機感を覚える。他支部の意見では保険料率 10%維持が大多数とのことだが、保険料率を上げる時期についての議論はされていないのか。

【事務局】

保険料率を上げるという意見は少ない。経済状況が厳しいなか、保険料率はできるだけ下げてほしいが、先のことを考えると現状維持もやむを得ないという意見が多数を占めている。

【事業主代表】

医療費の負担割合について、一般的にはどのような治療に関しても窓口負担割合は変わらない。

医療行為の種類によっては負担割合を上げるような仕組みを作ると、支出をおさえる効果があるのではないか。

【事務局】

高齢者の医療費について、香川県の市町は非常に努力している。75 歳以上の方の多剤問題について、保健師が病院からの請求を見て、改善の余地がある方に関しては自宅訪問し指導している町もある。オンライン資格確認が本格化すれば、医療費の負担割合を医療行為によって変えるといったことも検討されるかもしれない。

【議長】

平均保険料率 10%維持、香川支部の保険料率は 10.23%、変更時期を 4 月納付分からとすることでよいか。

(異議なし)

【事務局】

本日いただいたご意見を踏まえ、本部へ意見を提出させていただく。

協議事項 2. 2023 (令和 5) 年度支部事業計画 (案) 及び支部保険者機能強化予算 (案) について

【事務局より資料 4 に基づき説明】

(評議員の質問・ご意見)

【学識経験者】

健診受診をどう促すかということだが、ナッジの理論を活用してはどうか。

例えば「けんぼのいっぽ！」のチラシについて、香川県内の事業者健診の費用は 6,000 ~7,000 円ということなので、生活習慣病予防健診は「がん検診まで受けられて 2,000 円お得です」というように働きかけるのはどうか。今まで受けているものよりも安いことがわかれば、こちらの健診を受けてくれるかもしれない。

もう一点、ジェネリック医薬品の普及推進や健診受診率向上のためには、医師会の協力が不可欠。ジェネリック医薬品に関しては、医師にその重要性を理解していただく場を作ることが大切だと考える。県等の他の保険者と協力し、共有の場を設けてはどうか。

【事務局】

チラシの表現については、今後、香川支部独自で広報を実施する際に参考としたい。

ジェネリック医薬品に関しては、県内の三師会とも連携して粘り強く広めていきたい。また、普及が伸び悩んでいる原因のひとつとして、病院内のシステム上の問題もあることが確認できた。今後、病院内の仕組みも変えてもらえるような働きかけも検討したい。

【議長】

支部事業計画、保険者機能強化予算について事務局案どおりとすることでよいか。

(異議なし)

その他. 活動報告、協会けんぽ香川支部の概要

【事務局より資料 5、6 に基づき説明】

(評議員の質問・ご意見)

—特段意見なし—

以上

令和5年1月16日